



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、『スパークス・ベスト・ピック・ファンドⅡ(日本・アジア)マーケットヘッジあり』は、このたび、2024年10月29日をもちまして繰上償還となりました。

当ファンドは、主として投資信託証券を通じて、日本を含むアジアの株式に投資するとともに、株価指数先物取引等を活用し、日本を含む投資対象国の株式市場の変動リスクの低減を図りつつ、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。ここに、運用状況及び償還内容をご報告申し上げます。これまでご愛顧賜りましたことに対しまして、厚く御礼申し上げます。

### < お問い合わせ先 >

スパークス・アセット・マネジメント株式会社  
東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス  
リテール・ビジネス・デベロップメント部  
電話：03-6711-9200(代表)  
受付時間：営業日の9時～17時  
ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

### < 閲覧方法 >

上記URLにアクセス⇒「投資信託」より⇒「償還済み国内籍ファンド一覧」を選択

# 償還交付運用報告書

## 繰上償還

### スパークス・ベスト・ピック・ ファンドⅡ(日本・アジア) マーケットヘッジあり

特化型

追加型投信／内外／株式／  
特殊型(絶対収益追求型)

(償還日 2024年10月29日)

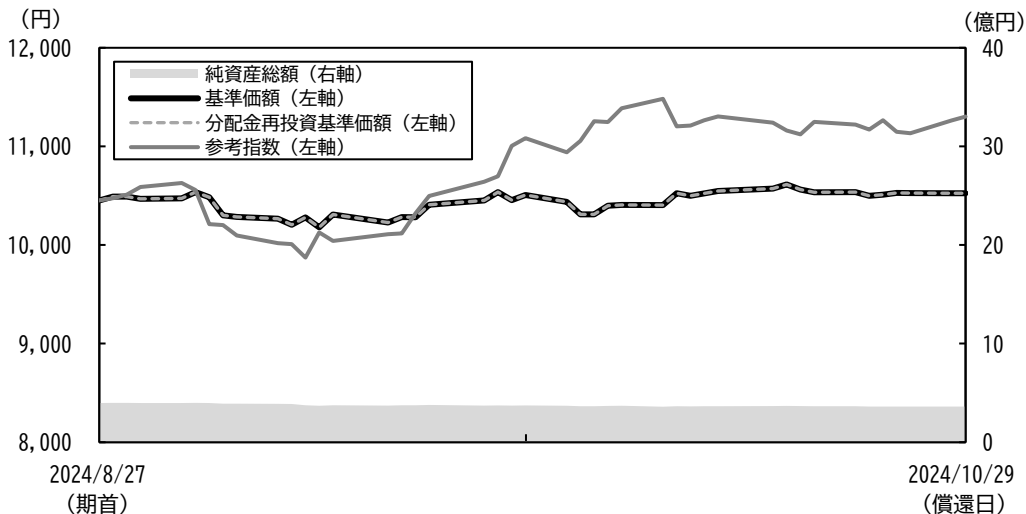
作成対象期間(2024年8月28日～2024年10月29日)

償還日 (2024年10月29日)	
償還価額	10,525円07銭
純資産総額	361百万円
第11期 (2024年8月28日～2024年10月29日)	
騰落率	0.7%
分配金合計	－円

(注) 騰落率は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

## 運用経過

### ■ 基準価額等の推移 (2024年8月28日～2024年10月29日)



第11期首：10,452円

償還日：10,525円07銭(既払分配金0円)

騰落率：0.7%(分配金再投資ベース)

- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Index (円ベース)」です。
- ※ 参考指数は期首(2024年8月27日)の基準価額に合わせて指数化しております。

### ■ 基準価額の主な変動要因

日本、台湾、インドネシアなどの各株式市場が上昇しプラス要因となりました。一方で、韓国株式市場の下落がマイナス要因となりました。また、株価指数先物が上昇したことが基準価額のマイナス要因となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2024年8月28日～2024年10月29日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 )  ( 販 売 会 社 )  ( 受 託 会 社 )	18円 ( 3 )  ( 14 )  ( 1 )	0.173% ( 0.029 )  ( 0.134 )  ( 0.010 )	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用  ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 費 用 )	2  ( 1 ) ( 1 )	0.020  ( 0.010 ) ( 0.010 )	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・法定書類等の作成、印刷費用
合 計	20	0.193	

期中の平均基準価額は10,453円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

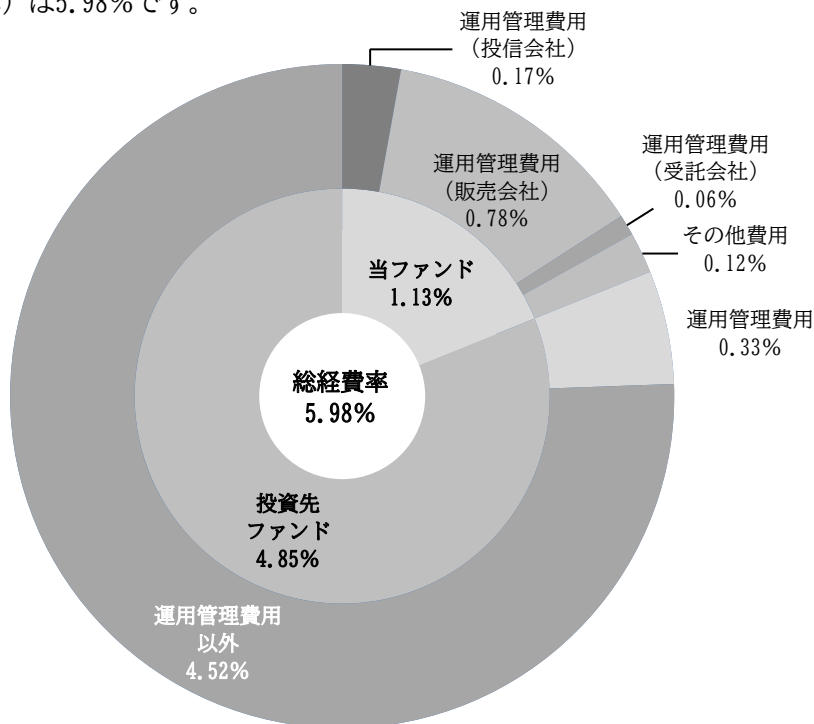
(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。(親投資信託を除く)

(参考情報)

○ 総経費率

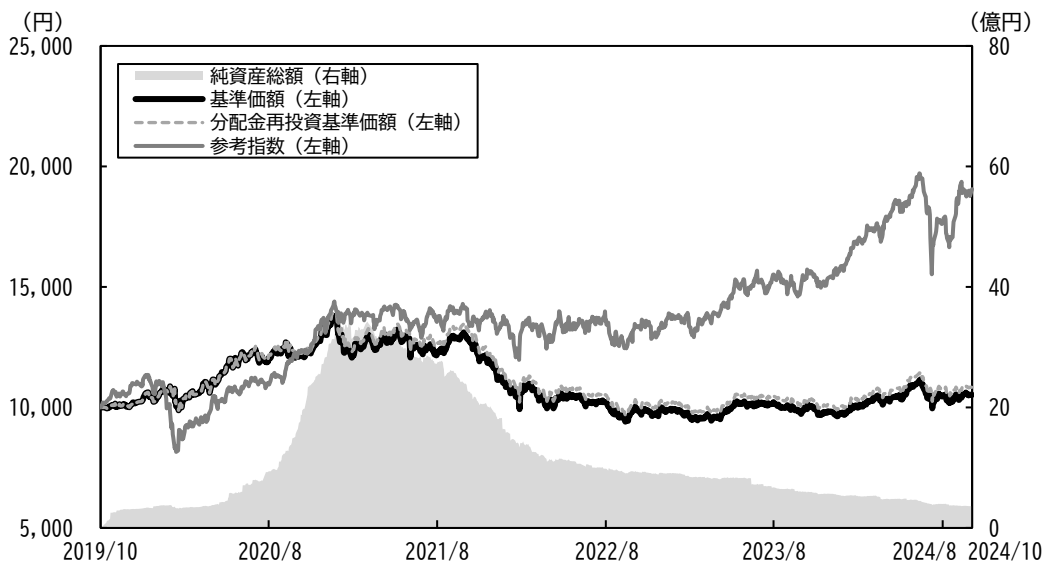
当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は5.98%です。



総経費率 (①+②+③)	5.98%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.33%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	4.52%

- (注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
 (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。  
 (注) 各比率は、年率換算した値です。  
 (注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。  
 (注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。  
 (注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。  
 (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移 (2019年10月15日～2024年10月29日)



- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 参考指数は当ファンドの設定時の基準価額に合わせて指数化しております。

	2019年10月15日 設定日	2020年8月27日 決算日	2021年8月27日 決算日	2022年8月29日 決算日	2023年8月28日 決算日	2024年8月27日 決算日	2024年10月29日 償還日
基準価額 (円)	10,000	12,267	12,358	10,254	10,123	10,452	10,525.07
期間分配金合計(税込み) (円)	—	120	240	0	0	0	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	23.9	2.7	△17.0	△ 1.3	3.3	0.7
参考指数騰落率 (%)	—	12.1	19.1	1.7	11.1	16.8	8.1
純資産総額 (百万円)	1	736	2,815	1,005	692	396	361

- ※ 設定日の基準価額は設定当初の投資元本です。
- ※ 参考指数は「MSCI AC Asia Index (円ベース)」です。  
参考指数の詳細は、最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

## ■ 投資環境

### <日本を含むアジア企業の株式>

米国が利下げに踏み切ったことや、中国政府が不動産市場の下支えと国内消費の活性化を狙って景気刺激策を導入したことを受け、アジアの株式市場は好転しました。

### <国内債券・短期金融市場>

2016年2月より導入された「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」により国内債券・短期金融市場はマイナスの利回りとなっていました。2024年3月よりマイナス金利が解除され利回りがプラスに転じました。しかし、量的緩和は継続されているため利回りは低い水準で推移しました。

## ■ ポートフォリオ

### <スパークス・ベスト・ピック・ファンドⅡ(日本・アジア)マーケットヘッジあり>

「SPARX・日本アジア・ベスト・ピック・ファンド(ヘッジありクラス/円建)」と「スパークス・マナー・マザーファンド」の投資信託証券を主要投資対象とし、期を通じて「SPARX・日本アジア・ベスト・ピック・ファンド(ヘッジありクラス/円建)」をおおむね高位に組入れることにより、主に日本を含むアジア企業の株式または日本を含むアジア地域の金融商品取引所に上場している株式(これに準ずるものを含みます。)に投資するとともに、日本を含む投資対象国の株式市場の変動リスクの低減を図ることを目的として、株価指数先物取引等を活用することを基本方針としておりました。期間中、当ファンドの運用方針に準じて、運用を行いました。10月中旬以降は償還に向けて投資対象ファンドの売却を進めました。

### <SPARX・日本アジア・ベスト・ピック・ファンド(ヘッジありクラス/円建)>

日本を含むアジア企業の株式または日本を含むアジア地域の金融商品取引所に上場している株式(これに準ずるものを含みます。)を主要投資対象とし、ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、魅力的なビジネスと卓越した経営陣を併せ持つ企業で、企業価値に対して割安と考えられる銘柄の中から厳選して集中的に投資を行うとともに、日本を含む投資対象国の株式市場の変動リスクの低減を図ることを目的として、株価指数先物取引等を活用しました。10月中旬以降は償還に向けて保有資産の売却を進めました。

## (主なプラス要因)

当期のパフォーマンスに対してプラスに寄与した主な銘柄は、China State Construction International Holdings Ltd(香港／資本財・サービス)、Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd(台湾／情報技術)などです。

中国では、預金準備率(RRR)と金利の引き下げ、住宅ローンの頭金比率の引き下げ、銀行に対する流動性供給による企業向け貸し出しの促進などの追加刺激策が発表されたため、China State Construction International Holdings Ltdなどが上昇しました。

Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltdは、AI(人工知能)に対する投資家の期待感が引き続き高く、上昇しました。

## (主なマイナス要因)

当期のパフォーマンスに対してマイナスに影響した主な銘柄は、Samsung Electronics Co Ltd(韓国／情報技術)、Lemon Tree Hotels Ltd(インド／一般消費財・サービス)などです。

韓国市場では、このところテクノロジーセクターが堅調に推移していましたが、その反動が起こり、Samsung Electronics Co Ltdなどが下落しました。

インドでは、規制当局が中小型銘柄の流動性とバリュエーションに懸念を示したことを受け、Lemon Tree Hotels Ltdなどが下落しました。

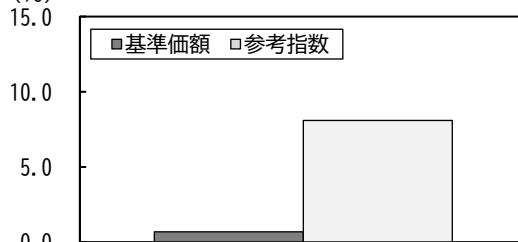
## <スパークス・マネー・マザーファンド>

信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当期間の運用につきましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

## ■ ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。  
右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「MSCI AC Asia Index(円ベース)」です。

当ファンドの基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)  
(%)



第11期  
(2024年8月28日～2024年10月29日)

(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

## ■ 分配金

該当事項はありません。

## ■ 償還価額

当ファンドは2024年10月29日をもちまして繰上償還となり、1万口当たりの償還価額(税込み)は10,525円07銭となりました。

これまでご愛顧賜りましたことに対しまして、厚く御礼申し上げます。



## お知らせ

該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

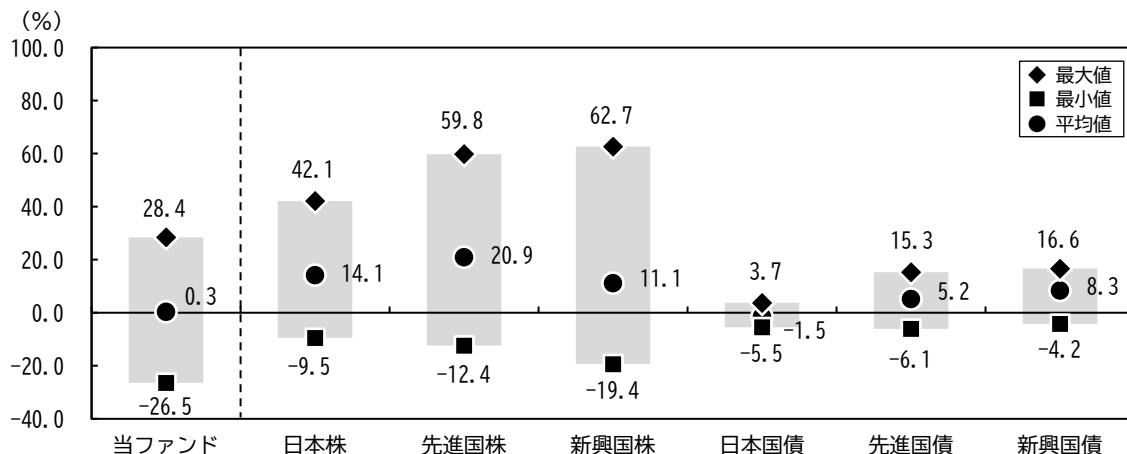
商品分類	追加型投信／内外／株式／特殊型(絶対収益追求型)
信託期間	2019年10月15日から2024年10月29日まで(当初2029年8月27日まで)
運用方針	この投資信託は、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	ケイマン籍証券投資法人「SPARX・日本アジア・ベスト・ピック・ファンド(ヘッジありクラス/円建)」およびわが国の証券投資信託「スパークス・マネー・マザーファンド」を主要投資対象とします。
ファンドの運用方法	外国投資信託証券の組入れは原則として高位に保つことを基本とします。各投資信託証券への投資比率は、原則として市況環境および投資対象ファンドの収益性等を勘案して決定します。なお、資金動向等によっては、各投資信託証券への投資比率を引き下げることがあります。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 (1) 分配対象額の範囲 経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収入および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 (2) 分配対象収益についての分配方針 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、収益分配を行わないこともあります。 (3) 留保益の運用方針 留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

※ 当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては35%を上限として運用を行います。

※ 当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

(参考情報)

■ ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2019年10月末～2024年9月末)



(注1) 当ファンドは2019年10月15日に設定しているため、2020年10月から2024年9月の期間、他の代表的な資産クラスについては、2019年10月～2024年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※ 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・FTSE新興国市場国債インデックス(円ベース)

\* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

\* 詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### ■ 組入資産の内容 (2024年10月29日現在)

信託終了日における有価証券の組入れはございません。

< 資産別配分 >



< 国別配分 >



< 通貨別配分 >



※ 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

### ■ 純資産等

項 目	償還時
	2024年10月29日
純資産総額	361,783,950円
受益権総口数	343,735,513口
1万口当たり償還価額	10,525円07銭

(注) 当期中における追加設定元本額は一円、同解約元本額は35,666,373円です。

## 指数に関して

### < 当ファンドの参考指数について >

MSCI AC Asia Indexは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、アジア地域の先進国と新興国の大型・中型株で構成されています。また、MSCI AC Asia Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### < 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数 >

#### 日本株：東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

東証株価指数(TOPIX)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXは、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社(以下「J P X」といいます。)の知的財産であり、J P XはTOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### 先進国株：MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### 日本国債：NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(以下「NFRFC」といいます。)が公表している指数で、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、NFRFCおよびその許諾者に帰属します。NFRFCは、ファンドの運用成果等に関し、一切責任ありません。

#### 先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

#### 新興国債：FTSE新興国市場国債インデックス(円ベース)

FTSE新興国市場国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※ 上記指数はファクトセットより取得しています。